

◆◆◆◆◆  
吉山盛次郎 議員



◆◆◆◆◆  
種目等の検討課題が多くある。学校教育課や村体育協会と連携し検討していく。

**質** 小学校、中学校の部を各行政区対抗にするという提案をしていいか。成人、青年、一般の人たちが子供たちの面倒を見る。そういうものが社会教育、生涯スポーツにつながる。

**答** 学校教育課長 石川 司  
陸上競技が合同で行われた経緯の中では、大人が子供の、中学生のお手本になろうということも一つあったと記憶しています。今後、学校教育課も地域、社会教育課と連携をとって、色々な形を模索検討したい。

◆◆◆◆◆  
中学校統合後の小学校及び地域の在り方について

**質** 村体協と共に開催されていますが、中学校陸上が、どのような大会に移行していくのかをお聞きたい。どっという形で、来年からの村体協主催の陸上を運営していくのか。

**答** 学校教育課長 長浜健一  
中学校開校に伴い、競技方法や

◆◆◆◆◆  
針を伺います。

**答** 社会教育課長 長浜健一  
振興の方針は、住民が主体的に生涯にわたって充実した生活をおくれるよう、村第5次総合計画基本構想に沿って進めたい。

**質** 恩納校に、学童クラブが設置されました。各学校で空き教室も含めて、どっという展開をしていくのか。

**答** 福祉健康課長 長浜保治  
施設整備補助金を活用して、恩納小学校内に既存の建物を改修し学童を整備した。まずは仲泊小学校の空き教室を活用した学童整備を検討していきたい。

**答** 学校教育課長 石川 司  
教育委員会でも山田、仲泊を中心に空き教室の配置計画を次年度予定しています。今、各学校には地域連携室を設置し始めています。

**質** 老朽化していく学校施設、維持管理について、そのコスト及び集約化もどう計画されているのか。

**答** 学校教育課長 石川 司  
中学校統合の予算がたくさんかかりますので、その後に進めてい

◆◆◆◆◆  
きたい。全体的な建物劣化調査は次年度行われる。それを基に学校施設の集約化を検討したい。

◆◆◆◆◆  
選挙公報条例の制定について

**質** 選挙公報を、選挙管理委員会が一回発行する規定の条例を制定することができないか。

**答** 村長 長浜善巳  
選挙公報については、立候補者が有権者に広く施策を伝える大変重要な機会だと考えております。選挙公報の条例化については、議員各位と議論を重ねて考えてまいります。

◆◆◆◆◆  
村営住宅の整備について

**質** 新たな村営住宅整備に向けて何らかのめどがあるのか。

**答** 企画課長 山城雅人  
若者定住促進として、名嘉真区への整備を進めていきたい。本年度策定の定住促進に向けた基本計画の中で、村内各地区でどのような需要、供給があるのか確認した上で、村営住宅の戸数、配置等を決めていきたい。

◆◆◆◆◆  
山城 良一 議員



◆◆◆◆◆  
学校教育の充実について

**質** 経済的支援を要する成績優秀な新卒高校生に対し、返さない奨学金が実施されるが、対象となる人数、金額を伺います。

**答** 学校教育課長 石川 司  
県内10名の十万円、県外10名の二十万円です。

◆◆◆◆◆  
学校給食について

**質** 去年は村長の答弁の中で、財政が困難で検討しますと

◆◆◆◆◆  
いた。早々実施していただき、ありがとございます。施政方針で第3子以降、給食費免除を実施し、多子世帯保護者への経済的子育て支援をするのであれば、完全無償化へ向けて、予算の取り組みができなかったのか。

**答** 学校教育課長 石川 司  
今後継続審議として、取り組んでいる状況であります。

**答** 村長 長浜善巳  
年に2回開催されております教育会議において、議論は本当に重要。継続審議してまいります。

◆◆◆◆◆  
観光業の振興について

**質** 工事等に関する費用明細の内訳を伺います。

**答** 建設課長 崎山 敦  
建築11億5千3百44万円、電気1億7百13万6千円、機械1億8千1百98万円、造成1億8千3百11万4千円、設計、土木建築7千93万9千8百円、設計監理2千4百93万7千2百円、観光備品整備委託料4千5百43万3千円、備品購入費5千1百63万7千円、万座毛展示委託料1百35万3千円、万座毛展示備品費6百69万9千円、合計金額18億2

◆◆◆◆◆  
千6百66万9千円です。

**質** 運営管理について伺います。

**答** 商工観光課長 宮平 寛  
歳入は7千万円予定している。

**質** 一般財源から持ち出しがあるのか。

**答** 商工観光課長 宮平 寛  
当面は指定管理料は発生してくとお思います。後々は状況を見ながら、自立できるように形に進めていけたらと考えている。

**質** 基金創設を予定しているのか。

**答** 商工観光課長 宮平 寛  
9月、12月の議会で基金条例を設立できたらと考えている。当初は、指定管理委託料、人件費につきまして、一般財源からの対応になる。

◆◆◆◆◆  
財政基盤の強化について

**質** 当年度の末で借入残高60億2千5百93万3千円、基金からの繰入金10億4千6百51万5千円、地方債20億2千3百万円、投資的経費の抑制に努め、中長期財政計画の遵守に努めるとありますが、どっいつた計画ができるの

◆◆◆◆◆  
か。今までにない、最高の借金基金も崩し右肩上がり借金が増えている。

**答** 総務課長 新里 勝弘  
目標①地方債の35億円未満の維持、②基金残高50億円以上の確保、③歳出抑制としては経常収支比率の82・7%以内という事を計画でうたっております。今年度に関しては基金の取り崩し、地方債の発行と膨大な借金を抱えるということになり、今後、地方債の新規発行の抑制を図ってまいります。

**質** いろんな事業がかさみ、借金になってしまった。一度立ち止まって見直し、例えば学校給食費、通学費の援助、教育や福祉関係に予算を盛り込んでもらいたい。事業見直しを来年に向けてできないか。

**答** 村長 長浜善巳  
今後は福祉を充実させるために、議員、地域、区長会の意見を拝聴して、施策にも反映させていきたい。